

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	今年度は運営推進会が出来ておらず、運営推進会議を3か月1回実施できるようにすることが求められる。	3月に開催した運営推進会議で会員と話し合い、定期開催を求める。	3月の運営推進会議でH29年度4月から、3か月に1回開催することになる。 具体的には、4月、7月、10月、1月 第2金曜日の開催が決定した。	1ヶ月
2	10	利用者や家族が気軽に話しかけられる関係を作り、意向に沿った取り組みを行っているが、話した内容の記録化が出来ていないこともあり、家族来訪時の記録に努め、利用者本位の支援に努めることを期待する。	ホーム生活の上で、家族、本人から、聞き取った支援に必要な内容を、職員全員が聞き流さず、記録していくようにする。	3月の月例ミーティングで、利用者本位の支援のためにも記録の大切さを伝える。それぞれ対応したものが、話した内容の記録をすることとした。	6ヶ月
3	35	避難訓練実施前に、実施前に夜勤者を含め全職員げ計画の目的や役割分担を理解し、全員の対応力向上につながるように期待する。	消防計画書を事前に準備し、全員が避難訓練の内容をする。計画書のみならず、対応方法を理解しやすく文書化する。届出なしの自主訓練も考えていく。	3月の避難訓練は事前に計画書を提示し、全員の理解を求めた。消防署立会いの下で訓練実施。理解したうえで訓練した。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月